

2026年4月使用分から 下水道使用料を 平均13.6%改定します



2026年4月から下水道使用料を平均13.6パーセント改定します。引き続き、安全・安心な下水道事業を運営していくため、使用者の方に適正に負担していただくことが必要です。

ご理解とご協力をよろしくお願いします。

問下水道使用料改定コールセンター

☎216-4320 ☎216-5740 (平日9:00~17:00)

改定後の下水道使用料



2026年4月使用分から、下水道使用料はどれくらい変わるの？



私たちは3人世帯だから、2カ月で約500円の値上げね。

*各家庭での使用水量は、お水の使い方によって異なります。
詳しい下水道使用料は、[千葉市 令和8年下水道使用料改定](#)

改定後の料金イメージ(2カ月あたり、税込み)

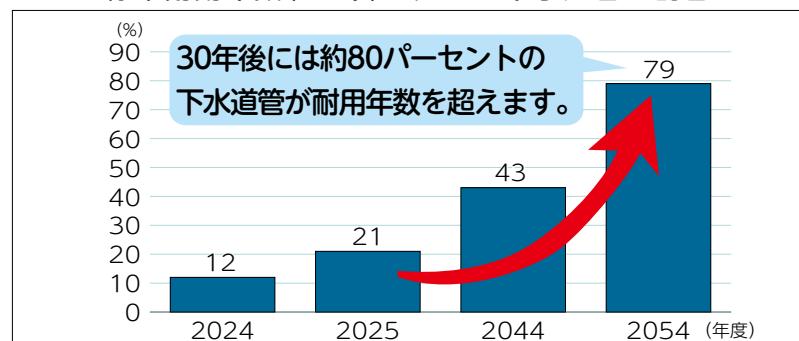
使用水量(目安)	1人世帯 11~20m ³	2人世帯 21~30m ³	3人世帯 31~40m ³
改定前	1,528~1,706円	1,835~2,994円	3,122~4,280円
改定後	1,734~1,932円	2,079~3,396円	3,542~4,858円
差額	206~226円	244~402円	420~578円

改定をしないとどうなるの？



下水道使用料は、下水道施設の維持管理（運転、点検、修繕など）や、過去の整備費用の返済などに使われています。本市では、1992年の政令市移行をきっかけに普及促進に向け急ピッチで整備を行ってきました。その分、これから多くの下水道施設が老朽化していきます。改定を行わず、資金が不足すると、老朽化した下水道管の修理や地震対策などに必要な工事が進まなくなり、安全・安心な下水道サービスの提供に支障をきたす恐れがあります。

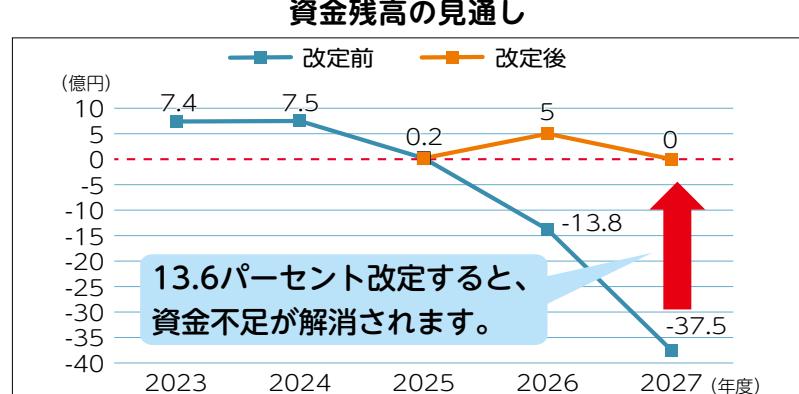
標準耐用年数(50年)を超える下水道管の割合



なぜ改定が必要なの？



人件費などの上昇により、維持管理コストの増加が見込まれ、厳しい経営状況が続いている。右のグラフのとおり、2027年度には、資金残高が約37億円不足する見通しで、この不足を解消するためには13.6パーセントの改定が必要となります。



改定が決まるまで



下水処理で出る汚泥を燃料として再利用することにより、これまでかかっていた汚泥処分費を削減するなど、経営改善に努めてきましたが、不足する資金を賄うため、下水道使用料を改定することになりました。引き続き、安定した下水道経営に取り組んで参ります。改定にあたっては、学識経験者や公募市民を含む「下水道事業等経営委員会」で3回審議を行い、市議会での議決を経て、決定しました。

下水道使用料改定の背景を詳しく知ろう！

